

# LUCERNE FESTIVAL ORCHESTRA

2017年

10/6(金)19:00 サントリーホール

Friday, October 6, 2017 at 7 p.m. Suntory Hall

ベートーヴェン: 劇音楽「エグモント」op. 84 序曲

Beethoven: "Egmont" Overture op. 84

ベートーヴェン: 交響曲第8番 へ長調 op. 93

Beethoven: Symphony No. 8 in F major op. 93

ストラヴィンスキー: バレエ「春の祭典」

Stravinsky: Ballet "Le sacre du printemps"

特別協賛:  THE ADECCO GROUP

10/7(土)17:00 サントリーホール

Saturday, October 7, 2017 at 5 p.m. Suntory Hall

10/8(日)15:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

Sunday, October 8, 2017 at 3 p.m. MUZA Kawasaki Symphony Hall

R. シュトラウス:

R. Strauss:

交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」op. 30

Symphonic poem "Also Sprach Zarathustra" op. 30

交響詩「死と変容」op. 24

Symphonic poem "Tod und Verklärung" op. 24

交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」op. 28

Symphonic poem "Till Eulenspiegels lustige Streiche" op. 28

10/9(月・祝)15:00 京都コンサートホールでの公演もございます。

ルツェルン祝祭管弦楽団

指揮/音楽監督: リッカルド・シャイー

RICCARDO CHAILLY, Music Director



LUCERNE FESTIVAL

# 来日決定!



©Lucerne Festival

主催:KAJIMOTO 共催:ミューザ川崎シンフォニーホール [10/8]

料金:S¥35,000 A¥31,000 B¥27,000 C¥23,000 D¥18,000

KAJIMOTO

# アバドからシャイーへ —新音楽監督に率いられ、伝説のスーパー・オーケストラ、11年ぶりに再来日!

ルツェルン祝祭管弦楽団は、1938年にまで遡る歴史がある。だが、現在のそれはクラウディオ・アバドによって創られたものである。アバドは現代最高のオーケストラを創ろうと、世界の名門オーケストラやソリストたちに声をかけ、文字通り世界屈指のオーケストラを立ち上げたのである。

マーラー、ブルックナーの交響曲をはじめ、ワーグナーの楽劇「トリスタンとイゾルデ」などを取り上げては世界の音楽ファンを魅了した。それは、2003年に開始されたが、広く知られているようにアバドは、2002年にベルリン・フィルの首席指揮者のポストを退いており、このルツェルン祝祭管弦楽団との演奏活動は、69才となったアバドの音楽活動の結論を聴かせるものとして耳を傾ける者すべてを虜にしたのである。

だが、アバドは2014年に他界してしまった。後任は、ラトヴィア生まれのネルソンスになったが、先頃リッカルド・シャイーが新しいシェフになったと報じられ、昨年からは音楽監督を務めている。シャイーは、これまでロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団などの首席指揮者、カペルマイスターを歴任してきた。また、昨年からはミラノ・スカラ座の音楽監督に就任するなど、かつてのアバドを彷彿とさせるかのようである。そして、このシャイーはルツェルン祝祭管弦楽団を率いて我が国を訪れる。おそらくシャイーの胸には、アバドへの賞賛の念と同時に、1938年にこのオーケストラを立ち上げた、同じくイタリアの大先輩トスカニーニへの思いも熱く沸騰していることであろう。いずれにしても、聴き逃さないコンサートである。

諸石 幸生(音楽評論家)

## ルツェルン祝祭管弦楽団 LUCERNE FESTIVAL ORCHESTRA (LFO)



©Peter Fischli

ルツェルン・フェスティバルのレジデント・オーケストラとして、2003年夏、イタリア人指揮者クラウディオ・アバドとルツェルン・フェスティバルの芸術総監督ミハエル・ヘフリガーにより創設。前身は、ルツェルン・フェスティバル初開催年(1938年)のガラ・コンサートで初公演を行ったスイス祝祭管弦楽団である。これは、巨匠アルトゥーロ・トスカニーニが当時のトップ・ヴィルトゥオーゾたちを集めて組織した伝説的なオーケストラである。アバドは2014年1月に逝去するまで音楽監督を務めた。LFOは世界一流のオーケストラで首席奏者を任されている演奏家たち、卓越した室内楽奏者たち、すぐれた音楽教師たち、そしてマーラー・チェンバー・オーケストラとミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団のメンバーたちによって構成されている。過去10年の演奏の多くはテレビで放送され、またDVD化されており、彼らのCDやDVDは、ディアパゾン・ドール、BBCミュージック・マガジン・アワード、インターナショナル・クラシカル・ミュージック・アワードを始め、国際的なレコード賞に輝いている。これまで、ローマ、ウィーン、マドリッド、パリ、バーデン=バーデン、ハンブルク、ロンドン、ニューヨーク、フェラーラ、モスクワ、北京で演奏を披露し、2006年の東京公演は今や伝説と化している。2015年秋には、アンドリス・ネルソンスの指揮でヨーロッパの主要都市でツアーを行った。

## リッカルド・シャイー(指揮) Riccardo Chailly, Conductor



©Marco Borggreve

2016年夏、故クラウディオ・アバドを継いでLFOの音楽監督に就任した現代屈指の指揮者。1953年、ミラノ生まれ。ミラノ・スカラ座でアバドのアシスタントとしてキャリアをスタートさせ、1980年ベルリン放送響の音楽監督に就任。1988年から16年間、ロイヤル・コンサートヘボウ管の音楽監督を務めた。2005~2016年にはライプツィヒ・ゲヴァントハウス管のカペルマイスターを務め、2015年にはスカラ座の音楽監督に就任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、バイエルン放送響、ロンドン響、パリ管、ニューヨーク・フィル、クリーヴランド管、フィラデルフィア管、シカゴ響等に客演。オペラ指揮者としても定評があり、スカラ座はもとより、メトロポリタン歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、チューリヒ歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場などで指揮。これまで150以上の録音を発表し、エコー・クラシック賞など受賞多数。「グラモフォン」誌は『ブラームス：交響曲集』を2014年の最優秀録音に選出。イタリアの騎士上級勲章、騎士大十字勲章を、オランダのベアトリス女王から獅子勲章爵位の称号を受章。1996年からロンドン王立音楽アカデミー名誉会員。2011年、フランス芸術文化勲章「オフィシエ」を受章。

シャイーは18歳の時にアバドのアシスタントとしてキャリアをスタートし、共にミラノ出身という共通点もある。就任したての昨年のルツェルン・フェスティバルで、彼は尊敬を込め、アバドがとりこんでいたマーラー・チクルスを完結させた。(シャイーはオケに「アバドのマーラーのDNA」を感じたとの由。)

夏だけの有志的なオーケストラに、まるで室内楽をするかのようにフレンドリーな雰囲気を感じ、そのルツェルン祝祭管を指揮することは純粋な至福である、とシャイーは言う。そんなオケの資質から、今夏はすべて、ソリストや合唱のつかない交響曲のみの3種のプログラムを選んだ(日本公演はそのうちの2プログラム)。フェスティバルのオープニング・コンサートにはR.シュトラウスばかりのプログラムを。さりとて左手をポケットに入れてはいられない……交響詩は指揮者に

ととてもオーケストラにとっても難しいものだ。しかし、それをハッピーな挑戦だと考えるシャイーにより、オケのポテンシャルを深化させることになるだろう。そして、ゲヴァントハウス管で録音し数々の賞を受けているベートーヴェンの交響曲。シャイーにとって、ともに育った存在であり“アットホーム”と感じる作曲家であるストラヴィンスキー。これまでルツェルン祝祭管が演奏してこなかったレパートリーを選ぶことに重きを置いたという。

ヴィルトゥオーゾ的な指揮のテクニックと、力強く形を作り上げる能力……単に「アバドの次の人」というには留まりようもない、リーダーシップの持ち主であるシャイーと、エリート集団であるこのオーケストラとが、双方ともにそれぞれから何を引き出していくのか、楽しみだ。(今夏のルツェルン・フェスティバルのパンフレットより)

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご利用いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

twitter @kajimoto\_News

facebook YouTube YouTube

“kajimotomusic”で検索!

チケットぴあ 0570-02-9999  
(Pコード: [10/6,7]327-332 [10/8]327-335)  
e+(イープラス) http://eplus.jp/  
CNプレイガイド 0570-08-9990  
ローソンチケット 0570-000-407  
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(10/6,7公演のみ取扱い)  
ミュウザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200(10/8公演のみ取扱い)

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。  
iモード・EZWeb・Yahoo!ケータイ 対応  
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



Instagram @kajimotomusic

一般発売: 5/28(日)10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 5/18(木)12:00~5/21(日)18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。  
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 TEL: 03-3574-0550 http://www.kajimotomusic.com/